

編集後記

1994年に愛知県立芸術大学に音楽学コースが創設されました。国公立大学に設置されている音楽学の専門課程としては東京藝術大学楽理科に次いで、2番目に設置されたものでした。創設時に音楽学の専任教員として2名が配置され、そのうちの一人が井上さつき先生でありました。

井上先生は音楽学コース創設から28年に亘って、コースの運営、教育にご尽力くださり、この号が刊行してまもなく定年退職となります。

今号は井上さつき教授退職記念号ですが、音楽学を専門とする先生のお弟子さんたちによる論文は、この2月に刊行された、井上さつき監修・森本頼子編著『音楽と越境—8つの視点が拓く音楽研究の地平』(音楽之友社、2022年)に収録されております。魅力ある論集に仕上がっているのももちろんですが、井上先生の厳しいなかにあたたかみのある研究指導が結実したものとなっておりますので、是非とも、お手にとっていただければ幸いに存じます。なお、今号では井上先生の略年譜と最終講義の報告を特集として組み、巻頭論文には本学在学中に井上先生のご指導を受けた作曲コースの成本理香准教授に寄稿いただきました。

私個人的には、井上先生とのご縁は短い時間でしたが、先生の研究に向かう姿勢や、ご自身の専門以外への旺盛な知的好奇心には、幾度となく大いなる刺激を受けました。

井上さつき先生、ありがとうございました。ご退職おめでとうございました。(東谷護)

「ミクスト・ミュージズ」の編集作業に携わるのは2回目ですが、慣れないことが多く、東谷先生、前号の編集長だった永井文音さん、編集スタッフの山上さんに助けていただきながら、なんとか無事に刊行することができました。お忙しいなか原稿をお寄せくださった執筆者の皆様に御礼申し上げます。また今号も表紙絵には、本学名誉教授の小林英樹先生が作品を提供してくださいました。心より御礼申し上げます。

井上先生には、学部時代から8年間、厳しくも愛のある指導をしていただきました。井上さつき教授退職記念号の刊行に携わることができ、大変光栄です。井上先生、ご退職おめでとうございました。ありがとうございました。(村瀬優花)

昨年に引き続き、編集作業に携わらせていただきました。昨年やったとはいえわからないことが多く、丁寧に教えてくださった村瀬さんに感謝しております。また素敵な表紙絵や文章をお寄せいただいた先生方、先輩方にも感謝申し上げます。伝統ある紀要の編集に参加できたことを光栄に思います。ありがとうございました。(山上千乃)